

# Sustainability Data Summary 2026

森トラストグループ  
サステナビリティデータサマリー

まちづくりから  
みらいづくりへ

Create the Future

経済・環境・社会の共生を目指して。

## トップコミットメント

環境だけでなく、経済・社会との共生を目指します

### 経済・環境・社会の共生を目指して

森トラストグループは、「わくわくするような未来の創造」を目指して、不動産事業・ホテル&リゾート事業・投資事業の3つの柱にとどまらず、様々な事業領域へと舞台を拡大させています。

その多くは人々の生活を創り出し、新たな時代のスタンダードを生み出していくものです。当社グループの長い歴史の中で築き上げてきた経験と、新時代創造に対する想いを掛け合わせ、環境への配慮と経済や社会の発展とが両立する社会の実現を目指してまいります。

### まちづくりから みらいづくりへ

かつて当社グループの創始者、森泰吉郎は「17カ条」の経営理念を語っており、その中で「ビルづくり(単体開発)から街づくり(面的再開発)へ」の変革を掲げています。人々の生活を形作るまちづくりへの変革を経て、当社グループは時代に対応した新しい価値を生み出してきました。

このたび私たちは「まちづくりから みらいづくりへ」をスローガンとして掲げ、経済・環境・社会の共生を目指すフェーズへの変革を推し進めることで、さらに先の世界を創造してまいります。



森トラスト株式会社 代表取締役社長  
伊達 美和子

### サステナビリティの実現

サステナビリティの推進は、将来社会に起こりうるリスクを軽減することに加え、事業の拡大、ひいては経済の発展にもつながります。

これを念頭に、安心・安全なまちづくり、環境への配慮、ウェルネスやダイバーシティなど、7つのテーマに沿って持続可能な社会を実現させてまいります。そのうちの一部は当社グループ自身をモデルケースとして体現し、社会への実装を推進いたします。

## コーポレートスローガン

# Create the Future

森トラストグループは、創業以来、先進技術やシステムを採用した  
大型複合開発をはじめ、日本初の法人会員制リゾートの創業、  
業界に先駆けた高級外資系ホテルの誘致、リート市場創設の提唱など、  
常に未来の社会を見据え、新たな商品・価値・ビジネスモデルを創造してまいりました。

2030年より先の社会——。

新しいテクノロジー、新しい形のコミュニティ、そしてそこから生まれる  
様々なシナジーをリアルとサイバーの両方で享受できる、ワクワクするような未来の創造を、  
森トラストグループは目指してまいります。

## 経営理念

### 会社は公の器である

社会に貢献することを理念に事業を推進させる

### 会社は社会とともに持続的である

ストラテジーを時代に合わせて変化させる

### 会社は戦略と戦術をもって事業を展開する

事業を水平垂直展開することで事業の相乗効果を狙う

## サステナビリティ推進ビジョン



まちづくりから  
未来づくりへ

# Create the Future

経済・環境・社会の共生を目指して。

森トラストグループでは、コーポレートスローガンと3つの経営理念に基づき「森トラスト サステナビリティ推進ビジョン」を制定しています。

私たちはコーポレートスローガン「Create the Future」のもとわくわくするような未来の創造を目指しています。

かつて私たちのミッションがビルづくりからまちづくりへ変わったように新しい社会を作ることで、私たちもまた社会と共に変わります。

森トラストグループは「まちづくりから 未来づくりへ」をスローガンに、環境だけでなく経済・社会との共生を目指します。

デジタルトランスフォーメーションや様々なイノベーションなど、今後も多様化する社会と共に、私たちも大きく変わっていくことで、新しい社会の実現に貢献してまいります。

## 当社グループのサステナビリティ活動

### 概要

私たちは、「まちづくりから みらいづくりへ」をスローガンに経済・環境・社会の共生を目指し、森トラストグループにとって重要な領域である7つのテーマに沿って、SDGsの達成、ひいては持続可能な社会を実現させてまいります。従来より進めているまちづくり・地域活性化、企業としてのコンプライアンス・ガバナンス強化や多様性社会の実現に加え、テクノロジーなど産業・技術の発展や、世界的な感染症拡大を経た新しい時代を創るための重要な要素を組み込んでいます。

新たな価値・次世代型サービスの創出によって人々の豊かなライフスタイル実現に貢献していくことが「わくわくするような未来の創造」に繋がると私たちは考えます。



### サステナビリティ推進体制

森トラストグループは、サステナビリティに関するガバナンス体制としてサステナビリティ推進委員会を設置しています。同委員会は当社グループを取り巻くESGの重要課題や推進方針についてグループ会社からの要請を踏まえながら議論するとともにその内容について取締役会に報告し、監督を受けています。



### サステナブル行動規範

森トラストグループは、サステナビリティを推進していくためには、当社グループのみならず、そのパートナーであるお取引先様をはじめとするサプライチェーン全体での取組みが必要かつ重要であると考え、「森トラストグループ サステナブル行動規範」を策定しています。本規範は、森トラストグループが遵守する事項を列挙したものであると同時に、サプライチェーン全体での実現を目指す事項を列挙したのとなっており、森トラストグループは、環境・経済・社会との共生、新しい社会の実現に貢献するべく、サプライチェーン全体で推進に取り組んでまいります。

## 当社グループのサステナビリティ活動

### 人権に関する方針

森トラストグループは、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、森トラストグループの人権の尊重に関する方針を明確にし、事業活動を通じて起り得るステークホルダーの人権に対する負の影響を最小化していくため、「森トラストグループ人権方針」を策定しています。人権方針は、森トラストグループの経営理念やサステナビリティ推進ビジョンを人権規範尊重という観点から具体化するものとして、すべての役職員に対して継続的に教育や研修を実施してまいります。

### 人権デュー・ディリジェンスの評価結果について

森トラストグループは、森トラストグループ人権方針に基づき、人権デュー・ディリジェンスとして、サプライチェーン上の人権に対する負の影響(以下「人権リスク」といいます)に関する調査を実施しております。この調査にあたっては、森トラストグループの主要な事業である賃貸関係事業に関するサプライチェーンに関連するステークホルダーを整理し、ステークホルダーごとに想定される潜在的な人権リスクについて、「深刻度」と「発生可能性」の観点から評価を実施しました。なお、当該評価においては、当社において発生可能性が低いと評価される人権リスクであっても、同業他社での発生実績や発生した場合の深刻度を踏まえて評価を実施しました。その結果、優先的に取り組むべき顕著な人権リスクについて、以下の通り特定しました。

- ・安全で健康的な作業環境
- ・過剰・不当な労働時間
- ・地域住民の権利
- ・環境・気候変動に関する人権問題
- ・知的財産権

森トラストグループは、今後も継続的に人権デュー・ディリジェンスを実施し、人権リスクを最小限に抑えるためのモニタリングを続けるとともに、従業員に対する人権教育を実施するなどして、人権リスクが顕在化しないよう取り組んでまいります。

また、人権尊重の取組みは、森トラストグループ単独でなし得るものではなく、サプライチェーン全体での取組みが重要であることから、今後、人権方針を敷衍した「サステナブル行動規範」を用いるなどして、ステークホルダーとの対話に努めてまいります。

## サステナビリティに関する取組目標

森トラストグループでは、サステナビリティに関する取組目標を設定しています。今後、環境だけにとどまらず、経済・社会との共生を目指した取り組みの深化を図り、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

周辺地域・企業・団体と協力的なイベント等の開催や地域活動への参加	年20回	育児休業取得率	100%
安心・安全なまちづくりとコミュニティ活性化のための防災訓練の実施回数	年4回	有給休暇取得率	75%
ホテル事業を通じた地域資源の積極的な活用による国内外への地域の魅力の発信	毎年の取組をサステナビリティレポートで公開	人財育成研修・イベントの実施	毎年
新築物件における環境認証取得または省エネ性能評価基準相当の達成 ※1	100%	生成AI業務適用スキル習得のための研修実施	毎年
エネルギー消費原単位	年1%削減	IPAが定める「DXリテラシー標準」スキル習得のための研修実施	毎年
CO2排出量	都条例に定められた削減義務率（4期：50%）を上回る削減率	健康診断/人間ドック受診率	100%
事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー割合	保有賃貸オフィスビルで100%を継続 ※2	健康経営優良法人の維持	毎年
太陽光発電所・蓄電所をはじめとしたグリーンインフラへの投資	毎年の取組をサステナビリティレポートで公開	女性マネジメント職層比率 ※6	2030年度までに25%
取水量の削減	前年度より削減 ※3	障がい者雇用率	法定雇用率以上
	前年度より削減 ※4	コンプライアンス研修実施	年4回
廃棄物の削減	特定プラスチック使用量 ※5 2031年までに1t/年	人権デューデリジェンス実施および改善	毎年
	生ごみ発生原単位 ※5 2031年までに124g/年		

※特記なき場合には森トラスト株式会社（単体）目標

- ※1 BELS、ZEB、ZEH等の評価基準に準ずる
- ※2 期間限定運用ビル、小規模賃貸ビルを除き、当社が電力供給契約を行っている物件に限る
- ※3 「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」において報告義務となる施設
- ※4 各自治体の廃棄物の再利用・減量にかかる計画書を提出している施設
- ※5 森トラスト・ホテルズ&リゾーツ側のホテル事業を対象とする
- ※6 マネジメント職層（係長級相当以上）に占める女性比率

トップコミットメント

コーポレートスローガン  
経営理念

サステナビリティ  
推進ビジョン

森トラストグループの  
サステナビリティ活動

サステナビリティに関する  
取組目標

2025年度活動実績概要

サステナビリティ関連データ

## 2025年度活動実績概要

## PICK UP



### 安心・安全なまちづくりと コミュニティ活性化

- ・地域防災やBCPの実現による、持続的に活動可能な場の創造
- ・時代のニーズに合わせた安心の提供
- ・様々な関係者と共に地域・社会の発展的成長を促進



### 地域に開かれたラウンジ空間の提供

東京ワールドゲートにおいて、地域とオフィスをつなぐコミュニティ空間「TOKYO WORLD GATE CoCo Lounge」、および近隣に居住する外国人向けの生活サポートや訪日外国人への観光案内を行うコンシェルジュ機能、地方産業の発信・育成を支援する「CoCo JAPAN」を運営しています。  
2025年度は、ミツカンの社内ビジネスコンテストから誕生した寿司ファストフードブランド「NINJA SPEED™」の実証販売を行うなど、街の賑わい創出に向けた取組を推進しました。



COCO  
JAPAN

### エリアマネジメント活動による地域コミュニティの形成

地域の企業・団体と共に地域の魅力を発見し、磨き、発信するイベントを実施しています。  
港区「神谷町エリア」や品川区「御殿山エリア」、「仙台東エリア」を中心に、コミュニケーションの誘発やウェルビーイングをテーマとしたコンテンツの提供など、地域コミュニティの形成に寄与していきます。

■ 2025年度イベント実施: 45回



### ホテル誘致による地域経済への貢献

2025年度は、第2期竣工を迎えた東京ワールドゲート赤坂・赤坂トラストタワー高層階において、日本初進出となるサステナブルラグジュアリーホテル「1 Hotel Tokyo」がオープンしました。館内デザインは、日本の職人文化から着想を得ており、再生素材や手仕事による仕上げを活かしながら、伝統と革新が調和する穏やかな空間を演出しています。  
また2024年に開業した「ホテルインディゴ長崎グラバーストリート」が長崎の魅力ある都市景観の形成に寄与した建築物などを表彰する「第24回長崎市都市景観賞(大きな建物部門)」を受賞しました。



### 定期的な災害訓練による安全への備え

東京ワールドゲートをはじめとした複数のオフィスにおいて、災害時に約1週間の事業継続ができる機能を整備しており、定期的な震災訓練や災害時を想定したシミュレーションを行っています。



## PICK UP



### サステナブルな 環境・社会の実現

- ・景観、生態系の保全や環境配慮の資源活用を通じたまちづくり
- ・再生可能エネルギーの使用・普及、および安定的供給の拡大
- ・様々なステークホルダーとの適切な協働



### 賃貸ビルにおける環境認証の取得、緑地の整備

赤坂トラストタワーにおいて、利用者の健康やウェルビーイングを高める空間づくりを評価する国際的な建築認証制度「WELL CORE GOLD認証」を取得しました。



東京ワールドゲート赤坂では、街区コンセプト「Next Destination ～もう一度、街で会おう～」のもと、ニューノーマルのその先の未来で多様な人々が再び出会い、交流するための目的地となる街の実現を目指し開発を推進しています。

環境負荷低減の取組や帰宅困難者スペースの整備などの防災対応力強化のほか、地形を活かした約5,600㎡の大規模緑地を整備しました。

### 琵琶湖蓄電所プロジェクトを始動

2026年2月に、当社初となる系統用蓄電所の開発・事業運営を目的とした特別目的会社を設立しました。当該蓄電所は、滋賀県守山市にて2026年夏に建設を開始し、2027年下期に運転開始を予定しています。



### 賃貸オフィスビルへの再生可能エネルギーの導入

2024年度にサステナビリティ推進ビジョン取組目標策定時(2022年度)に予定した物件への導入が完了し、「2025年度までの賃貸オフィスビル(※)への導入率目標:100%」を達成しました。新たに開発・取得したオフィスビルにおいても導入しており、再生可能エネルギー導入率100%を維持しています。

(※)期間限定運用ビル、小規模賃貸ビルを除き、当社が電力需給契約を行っている物件に限る。

- 再生可能エネルギー導入ビル一覧  
<https://www.mori-trust.co.jp/sustainability/active02/detail/action01/building-list/>
- 東京ワールドゲート赤坂 サステナブルな社会と働き方に向けた環境への取り組み  
[https://www.mori-trust.co.jp/tokyoworldgateakasaka/bcp\\_sustainability.html](https://www.mori-trust.co.jp/tokyoworldgateakasaka/bcp_sustainability.html)

### サステナビリティファイナンスの推進

株式会社森トラスト・ホールディングスにおいて、サステナビリティファイナンス・フレームワークを策定しています。また、当社開発物件における新規投資資金を資金使途としたサステナビリティローン(グリーンローン含む)を実行しています(2026年3月末時点累計調達金額:1,605億円)。

- サステナビリティファイナンスの実行状況  
<https://www.mori-trust.co.jp/sustainability/sustainabilityfinance/>







### ホテルにおける特定プラスチック使用量の削減

木製や竹製、減プラスチック製品など環境に配慮したアメニティを使用するなど、森トラストグループが運営する21ホテルにおいてプラスチックの削減に取り組んでいます。



トップコミットメント	コーポレートスローガン 経営理念	サステナビリティ 推進ビジョン	森トラストグループの サステナビリティ活動	サステナビリティに関する 取組目標	2025年度活動実績概要	サステナビリティ関連データ
------------	---------------------	--------------------	--------------------------	----------------------	--------------	---------------

## PICK UP

 <p>ワーク/ライフスタイル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークライフバランスを向上させる施設・サービスの提供</li> <li>新事業による生活多様性の創出</li> <li>新たな働き方の実践および社会への提案・還元</li> </ul>	<p>8 働きがいも 成長性も</p> 	<p>12 つくす責任 つなぐ責任</p> 
 <p>新時代創造・産業育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出資、パートナーシップを通じた産業育成</li> <li>デジタルデータ、先端技術の活用によるサプライチェーンの最適化</li> <li>自由な提案と実現を促進するグループ体制の構築</li> </ul>	<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p> 	<p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p> 

### 職場環境に関する認証の取得

経済産業省および日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人2026(大規模法人部門(ホワイト500))」に認定されました。6年連続での取得と「健康経営優良法人(大規模法人部門)」への認定は7年連続、ホワイト500は本年度が初めての認定です。  
 その他、「プラチナくるみん認定」「えるほし認定」を今年度も取得し、引き続き活力のある職場環境づくりに取り組んでいます。



- 健康経営優良法人2026(大規模法人部門(ホワイト500))  
 評価された主な取組
- 今回ホワイト500に認定された理由として、自社内に限らず、取引先や健康保険組合との連携強化、エリア就業者向けの健康イベント開催等が挙げられます。
- 当社運営ビルが立地するエリアを巻き込んだ健康増進イベントの実施(神谷町Morning Yoga、神谷町めぐまちプロギングなど)
  - 社内の健康増進イベントの実施(ウォーキングイベント、食生活改善イベントなど)
  - 健康診断受診率100%の継続
  - 男性育休取得率の向上(2024年度実績:82%)



【神谷町Morning Yoga】  
 始業前の朝の時間帯に、当社本社オフィスのエントランス空間「ロビー」を開放し、季節のテーマに合わせたリフレッシュヨガプログラムを提供しています。



【神谷町めぐまちプロギング】  
 ジョギングしながらゴミ拾いを行う、スウェーデン発祥のフィットネス「プロギング」を、神谷町エリアの街めぐりツアーに導入しました。

### 社会課題解決を目指す企業・ファンドへの投資

当社では不動産領域のみならず、一次産業、地域活性化、カーボンニュートラル等に関連した成長可能性の高い分野に対して資本参画及びファンド投資を推進しています。



①サーモンの陸上養殖プロジェクト  
 三重県津市においてアトランティックサーモン養殖を実施するピュアサーモンジャパン株式会社の運営ファンド「8F Aquaculture Fund Japan 1 LP」に出資しました。  
 海水温上昇などの環境要因等で品質や価格を一定に保つことが難しくなってきたなかで、陸上養殖は施設内で生育環境を管理することができ、鮮度高く加工し提供可能であることから、安全性・安定性の観点で近年高い注目を集めています。













②観光需要喚起に向けた映画ファンド出資  
 株式会社K2 Picturesが運用する映画製作ファンド「K2P Film Fund I」に出資しました。  
 コンテンツ産業は、今後世界に日本を発信していく上での重要な産業であり、海外売上は2023年で約5.8兆円と、半導体産業や鉄鋼産業の輸出額を超える産業規模となっています。映像コンテンツが、制作過程や公開後において、ロケツーリズムなど新たな観光資源として機能することに期待を寄せており、当社においては、保有施設のロケ地提供にも協力していきます。

### 文化・産業発信に寄与する展示・販売

TOKYO WORLD GATE CoCo Loungeにおいて文化・産業の発展に寄与する展示・販売を行っています。常設展示のほか、地方自治体や地場産業と連携した企画展示やふるさと納税の紹介、伝統工芸ワークショップなどを実施しています。  
 2025年度は企画展示に置いて11の自治体および19の事業者と連携しました。

トップコミットメント	コーポレートスローガン 経営理念	サステナビリティ 推進ビジョン	森トラストグループの サステナビリティ活動	サステナビリティに関する 取組目標	2025年度活動実績概要	サステナビリティ関連データ
------------	---------------------	--------------------	--------------------------	----------------------	--------------	---------------

## PICK UP

 <b>ウェルネス・健康促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の持続的な健康増進に寄与する場の提供</li> <li>・心も体も充足させる食や滞在機会の創出</li> <li>・社会全体での健康経営の実現</li> </ul>	 3 すべての人に 健康と福祉を	 17 パートナリシップで 目標を達成しよう	
 <b>ダイバーシティ (多様性社会の実現)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流や多言語対応の促進</li> <li>・多様な人材が活躍できる経営基盤の確立</li> </ul>	 5 ジェンダー平等を 実現しよう	 8 働きがいも 経済成長も	 10 人や国の不平等 をなくそう
 <b>コンプライアンス・ ガバナンスの継続的向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活性化に資するガバナンスの継続的な向上</li> <li>・持続可能な企業活動に資するリスクマネジメントの強化</li> </ul>	 10 人や国の不平等 をなくそう	 16 平和と公正を すべての人に	

### ウェルネス領域における事業、および社員の健康向上の推進

健康や環境に配慮したランチボックスの開発販売を行っています。  
また、室内環境の徹底的なクリーニングとそれを維持する施工をオフィス、ホテル、医療機  
関などに提供する「Pure wellness room」を展開しています。



加えて、自社の社員の健康向上の施策を進めており、社員の健康診断受診率・ストレスチェック受診率はともに100%※を  
維持しています。  
一定期間の歩数を競う社内イベントや社員向けの定期的な健康セミナーを実施するなど、今後も社員の健康増進に寄与し  
ます。

※ 森トラスト株式会社単体の数値

### 障がい者および若手アーティストの創作活動・社会参画支援

一般社団法人キャンパスが主催する、寄附者が選ぶ障がい者アート  
コンテスト「第5回キャンパスアートコンテスト」に協賛し、森トラスト  
賞の選定を行うとともに、当社施設において作品展示を行いました。

また、「御殿山さくらまつり」では、美術系学生を起用したアートイ  
ベントを実施し、アーティストとしての社会進出の機会が限られている  
学生の活動を支援しました。



御殿山さくらまつり2026でのアートイベントの様子

### 生活コンシェルジュによる外国人居住者サポート

TOKYO WORLD GATE CoCo Loungeにおいて外国人居住者サポートのコンシェルジュ対応を行っています。

### 多様な人財の成長促進

多様な人財のさらなる活躍を引き出す制度・支援策の整備と共に、多様性を受け入れ、尊重する  
風土・文化の醸成に取り組んでいます。

※森トラストは、厚生労働省より、女性の活躍促進に関する状況などが優良な事業主に与えられる  
認定制度「えるぼし認定」を取得しています。



### 人権方針の策定・公表

国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、森トラストグループの人権の尊重に関する方針を明確にし、事業活動を通  
じて起こり得るステークホルダーの人権に対する負の影響を最小化していくため、「森トラストグループ人権方針」を策定しまし  
た。また人権方針に基づき、人権デュー・ディリジェンスとして、サプライチェーン上の人権に対する負の影響に関する調査を  
実施しています。

森トラストグループ人権方針

### ガバナンスの継続的な向上とリスクマネジメントの強化

森トラストグループとしての遵法性、リスクマネジメントを向上させるため、グループ法務ミーティングを実施しています。また、  
情報漏洩に対する管理意識向上のため、危機管理対応シミュレーションや、社員全員の法務リテラシー向上を目的とした社内セ  
ミナーを実施しています。

- グループ法務ミーティング : 4回開催
- 危機管理対応シミュレーション : 1回開催
- 法務リテラシーセミナー : 7回開催

## サステナビリティ関連データ

トップコミットメント		コーポレートスローガン 経営理念		サステナビリティ 推進ビジョン		森トラストグループの サステナビリティ活動		サステナビリティに関する 取組目標		2025年度活動実績概要		サステナビリティ関連データ					
				安心・安全なまちづくりと コミュニティ活性化		サステナブルな 環境・社会の実現		新たなワーク・ ライフスタイルの提案		新時代創造・ 産業育成		ウェルネス・ 健康促進		ダイバーシティ (多様性社会の実現)		コンプライアンス・ ガバナンスの継続的向上	
取組目標		達成時期	数値目標	数値の区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度								
1	災害時に約1週間のBCP機能を備えたオフィスの整備	2025年	24.2万㎡	2020年以降の整備面積 累計	10.8万㎡	10.8万㎡	10.8万㎡	10.8万㎡	24.6万㎡								
	帰宅困難者スペースの整備	2025年	4,500㎡	2020年以降の整備面積 累計	2,500㎡	2,500㎡	2,500㎡	2,500㎡	4,500㎡								
	ホテルの誘致による地域経済への貢献	—	新規プロジェクト16件	—	開業ホテルなし	開業ホテルなし	2件	1件	1件								
2	エネルギー消費原単位	毎年	▲1%	削減率	+5.7%	+3.8%	▲6.4%	+5.4%	— ※	原油換算量	45,962kL	47,924kL	44,852kL	47,268kL	— ※		
				原油単位面積	1,392,315㎡	1,398,580㎡	1,462,531㎡	1,489,000㎡	— ※								
				エネルギー消費原単位	0.03301kL/㎡	0.03427kL/㎡	0.03067kL/㎡	0.03174kL/㎡	— ※								
				削減率(都内)	▲49%	▲45%	▲41%	▲38%	— ※								
	CO2排出量	—	都条例に定められた削減義務率 (4期：50%)を上回る削減率	基準排出量(都内)	96,348t-CO2	96,348t-CO2	109,024t-CO2	109,024t-CO2	— ※								
				排出量(都内)	48,898t-CO2	52,617t-CO2	64,453t-CO2	67,204t-CO2	— ※								
				排出量(全国)	84,739t-CO2	88,738t-CO2	97,477t-CO2	92,779t-CO2	— ※								
				排出量(全国) ※再エネ電力考慮後	84,739t-CO2	71,161t-CO2	48,356t-CO2	47,488t-CO2	— ※								
	事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー割合 (保有賃貸オフィスビル) ※期間限定運用ビル、小規模賃貸ビルを除き、当社が電力需給契約を行っている物件に限る	2025年	100%	—	0%	44.5%	88.1%	100.0%	100.0%								
	太陽光発電所をはじめとした再生可能エネルギー事業への投資	—	350億円	累計	55.8億円	55.8億円	63.7億円	66.7億円	86.7億円								
取水量の削減 ※「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」において報告義務となる施設	毎年	前年比減(原単位)	水取水量	581,447㎡	665,494㎡	748,274㎡	782,959㎡	— ※									
			原単位分母	1,219,237㎡	1,217,312㎡	1,277,674㎡	1,288,557㎡	— ※									
			取水量原単位	0.477㎡/㎡	0.547㎡/㎡	0.586㎡/㎡	0.608㎡/㎡	— ※									
廃棄物の削減 ※各自自治体の廃棄物の再利用・減量にかかる計画書を提出している施設	毎年	前年比減(原単位)	廃棄物	2,780t	3,228t	3,478t	3,585t	— ※									
			原単位分母	1,215,795㎡	1,214,049㎡	1,222,844㎡	1,297,681㎡	— ※									
			廃棄物原単位	0.0023t/㎡	0.0027t/㎡	0.0028t/㎡	0.0028t/㎡	— ※									
3	育児休業取得率	毎年	100%	男性	88.9%	55.6%	66.7%	90.0%	91.7%								
				女性	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%								
				合算	90.0%	71.4%	69.6%	93.3%	93.75%								
有給休暇取得率	毎年	75%	—	79.1%	82.8%	81.3%	79.7%	84.8%									
4	建物設計へのロボットフレンドリー基準の反映とロボット導入推進	2027年	22施設	累計	1施設	2施設	11施設	16施設	16施設								
	新たなワークライフスタイル創出や、 社会課題解決を目指すスタートアップ・ファンドへの投資 ※VC投資についてはコミットメント額ベース	—	200億円	累計	129.3億円	143.5億円	152.3億円	152.3億円	168.3億円								
	人財育成研修・イベントの実施	毎年	実施	—	実施	実施	実施	実施	実施								
5	健康診断/人間ドック受診率	毎年	100%	—	96.0%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%								
6	女性管理職比率	2030年度	10%	—	6.8%	6.6%	8.0%	7.7%	8.0%								
	障がい者雇用率	毎年	法定雇用率以上	—	1.3%	1.4%	1.6%	1.5%	1.5%								

すべて森トラスト株式会社の数値  
(※：数値確定次第、更新いたします)

